令和3年10月31日

# 衆議院小選挙区選出議員選挙 選挙公報

兵庫県第六区

発行者 兵庫県選挙管理委員会

## 桜井シュウ（さくらい しゅう）

### 想いと決意

桜井シュウは、4年前の衆院選で初当選して以来、国民のお役に立ちたい、閉塞感でいっぱいの社会を立て直したい、との想いでひたすらに政策提案に励んできました。提案した政策はいくつか実現することができました。

しかし、「国民の命と暮らしが最優先！」こんな当たり前のことができていないのが今の政治です。それどころか、都合の悪いことは隠蔽、権力に忖度して自己保身。桜井シュウは、そんな国民を諦めさせる政治を終わらせ、夢と希望が広がる社会を実現します。まずは感染症を終息させて、**日本を立て直します！**

一方で、コロナ禍以前から、少子化・高齢化や経済低迷、財政再建、エネルギー政策のあり方など問題が山積しています。何十年も前から分かっていたことですが、先送りされてきました。

世界に目を向ければ、人口は増加しており、マーケットは拡大しています。我が国の閉塞感の中で委縮しがちな思考から脱却し、世界にチャレンジする。生産性向上と技術・経営イノベーションを大胆に進める。**銀行員としてアジアの高度経済成長のダイナミズムを経験した桜井シュウだからこそ、我が国の積年の課題を解決できます。**

### 日本を立て直す5つの政策

**政策1 コロナ感染症から立て直す**
- ▶ウイルス検査・ワクチン接種・治療薬で感染症を収束
- ▶医療機関・医療従事者支援等で医療崩壊防止
- ▶困窮する事業者・生活者への支援

**政策2 経済と暮らしを立て直す**
- ▶消費税5%など税制改革
- ▶最低賃金時給1,500円など雇用の底上げ
- ▶カジノに頼らない観光戦略と高付加価値産業の育成

**政策3 教育と福祉で立て直す**
- ▶あらゆる差別の解消とジェンダー平等推進
- ▶待機児童と介護離職の解消と人材育成による成長戦略
- ▶安心の医療・介護・年金制度

**政策4 日本外交を立て直す**
- ▶専守防衛と平和主義の推進
- ▶人権外交の推進と世界の民主化支援
- ▶気候変動等地球規模問題への取組み

**政策5 政治の信頼を取り戻す**
- ▶公文書管理と行政情報公開の徹底
- ▶公的事業の費用対効果の徹底チェック
- ▶企業団体献金の禁止

**三ツ星国会議員 3年連続受賞！**

**桜井シュウ プロフィール**

銀行勤務では、アジアでの大規模インフラ事業への融資を担当。経済のダイナミズムを体感するものの、長期に渡って停滞する日本を立て直すことこそ自らの使命と感じ、ふるさとの兵庫に戻って政治活動を開始。

英鈴月影幼稚園卒、市立鈴原小卒、市立南中卒、県立伊丹高卒、京都大卒、京都大院修士修了、ブラウン大院修士修了。国際協力銀行、弁理士を経て、市議会議員（2期）、衆議院議員（1期）。

衆議院では、財務金融委員会、総務委員会、外務委員会、文部科学委員会、科学技術イノベーション特別委員会、倫理選挙特別委員会に所属。人権外交や政治分野男女共同参画推進の超党派議連では役員などを務める。

立憲民主党

---

# 維新 比例代表も日本維新の会へ

## 「与野党」から国会を取り戻す！

## いちむら（こういちろう） 浩一郎

日本維新の会 公認

### 改革なくして、成長なし

維新とは、「維（こ）れ新たなり」です。

この時代の流れに逆らうように、「護るべきは護り、変えるべきは変える」という不易流行を旨として、今一度、「日本の洗濯」ジャブジャブが必要です。

日本維新の会は、是々非々の政治を実践しています。また、しがらみを排した選挙も行っています。

だからこそ、自由でとらわれない発想で、真に日本の未来に必要とされる政策を大胆に打ち出すことが出来ます。

新生日本への挑戦！

維新の「いちむら」ならできます。

日本大改革プラン

**コロナ禍で傷ついた経済の立て直し**
- ●ガソリン値下げ・ガソリン税凍結
- ●積極的な財政出動・金融緩和を実行
- ●消費税を当面5%へ引き下げ
- ●新規参入規制の撤廃・規制緩和

**子育て・教育支援のさらなる充実**
- ●教育の完全無償化　●出産育児一時金の増額
- ●妊婦健診費用の完全無償化

「日本を今一度洗濯致し申し候こと」
坂本竜馬が姉乙女に宛てた手紙の一説

維新改革には いちむらさんが 必要です。 維新の挑戦に 力をください。

日本維新の会 副代表 吉村洋文

**プロフィール**
- ■約30年前に「NPO」を造語する
- ■松下政経塾9期生。松下幸之助塾長より直々に指導を受けた「最後の弟子」
- ■阪神・淡路コミュニティ基金元事務局長
- ■（公益財団法人）東京コミュニティー財団理事長
- ■一橋大学卒業

**主な公職**
- ■元 衆議院議員（3期）
- ■元 国土交通大臣政務官（空、海、住宅、防災などを担当）

---

政治は国民のもの

# 自民党

## 新しい時代を皆さんとともに。

## 大串まさき（おおぐし）

自民党公認・公明党推薦

**大串まさき プロフィール**

昭和41年生まれ。兵庫県出身。報徳学園高校卒（74回）。東北大学卒（工学修士）。プラント技術者として民間企業勤務。大学教員、研究職などを経て、平成24年から衆議院議員（3期連続当選）。松下政経塾出身。元経済産業大臣政務官。現自民党副幹事長。

■自民党8つの公約
1. 感染症から命と暮らしを守る。
2. 「新しい資本主義」で分厚い中間層を再構築する。「全世代の安心感」が日本の活力に。
3. 国の基「農林水産業」を守り、成長産業に。
4. 日本列島の隅々まで、活発な経済活動が行き渡る国へ。
5. 経済安全保障を強化する。
6. 「毅然とした日本外交の展開」と「国防力」の強化で、日本を守る。
7. 「教育」は国家の基本。人材力の強化、安全で安心な国、健康で豊かな地域社会を目指す。
8. 日本国憲法の改正を目指す。

■大串まさき4期目の挑戦／決意と政策

●これまでの取り組みと決意

○これまでの活動（～2020）―具体的な問題解決

初当選以来、地域と国の架け橋となるべく、さまざまな政策課題の解決や、政務などに携わってきました。特に医療、福祉、社会保障、教育、政務官として注力。科学技術イノベーション担当大臣政務官として、新型コロナウイルス感染症という、新たな危機と向き合う2年間でした。医療現場や地場経済などの多様な課題に対応する中で、「医療提供体制の整備」、「雇用環境を整備」、「経済安全保障の推進」、「科学技術政策の推進」、「外交安全保障の強化」、「憲法改正の実現」の6つの重点施策を立案しました。

○コロナの時代（2020～21）―コロナ対策に全力

新型コロナウイルス感染症という、新たな危機と向き合う2年間でした。医療現場や地場経済などの多様な課題に対応する中で、「医療提供体制の整備」、「雇用環境を整備」、「経済安全保障の推進」、「科学技術政策の推進」、「外交安全保障の強化」、「憲法改正の実現」の6つの重点施策を立案しました。

○未来に向けて（～2030）―新たな創造的挑戦

○未来に向けて（～2030）―新たな創造的挑戦

べきものは戻し、変えるべきものは変えていきます。戻すべきものは戻し、変えるべきものは変えていきます。

○ポストコロナ（2030年まで）―効率的なデジタル社会の実現や、持続可能な社会を目指す脱炭素化などの課題に対応する技術者として取組みを生かして、雇用政策、特許庁、脱炭素社会を目指しつつ強い日本を取り戻します。

●これから取り組む6つの重点施策

1. コロナ感染症の収束
収束します。
2. 雇用制度の改革推進
労働力確保と個々の能力を生かす社会に向けて、雇用環境を整備します。
3. 強い日本経済の再生
強い形成戦略と経済安定保障の観点で、経済を再生し景気を回復します。
4. 科学技術政策の推進
再生医療や量子・素材などの強い先端技術分野を強化します。
5. 外交安全保障の強化
主権と国益を守る外交力と、新たな時代の安全保障体制を強化します。
6. 憲法改正の実現
国民的な議論を活発にして、現代に相応しい憲法の改正を実現します。

**大串まさきさんを推薦します**　自由民主党総裁 岸田文雄 ／ 自由民主党幹事長 甘利明 ／ 公明党代表 山口那津男 ／ 参議院議員 末松信介 ／ 参議院議員 加田裕之

---

# 衆議院議員総選挙 10月31日（日）

- ●買物などで10月31日（日）の投票日当日に投票に行けない方は、10月30日（土）までに期日前投票をしましょう。
（午前8時30分から午後8時まで投票できます。）
（一部の地域では、時間の変更があります。）
（詳しくは、最寄りの市区町選挙管理委員会におたずねください。）

- ●新型コロナウイルス感染症予防の観点から、期日前投票を積極的にご利用ください。
- ●投票所にご来場の際は、マスクの着用をお願いします。
- ●投票所ではマスクの着用、消毒液の設置、定期的な換気など感染症対策を実施しています。
（詳しくは、最寄りの市区町選挙管理委員会におたずねください。）

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。また、掲載順序はくじで決めたものです。